

平成23年度 社会福祉法人いいたて福社会事業報告書

1. 基本方針について

予想以上に原子力発電所の事故の余波は大きく、4月からの新規事業である「やまゆり子育て支援センター」の運営は出来なくなり、デイサービスやヘルパーステーションも6月から休業、居宅介護支援事業所や保育所は川俣町へ一時移転するなど、平成23年度の基本方針であった「安全且つ安定した基盤づくりを目指す」には程遠いものになってしまったものの、理事会・評議員会を予定回数より多く開催し、そうした状況下でも、より良い方法の基盤づくりに努めてきた。

一方、職員が大幅に減少したなかで、新たに原発事故に伴う仕事が全般的に増加したことにより業務状況は多忙を極め、逆に経営面では今後の運営に影響を及ぼす大きな損害を受けた。何より、知的財産や技術を持つ人材を多く失ったことが大きかった。

2. 事業内容

(1) 理事会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		理事	監事	
第1回	平成23年 4月5日	6	1	報告第1号 平成22年度第6回理事会議事録の確認について 議案第1号 平成23年度社会福祉法人いいたて福社会事業計画(案)について 議案第2号 平成23年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支予算(案)について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福社会就業規則の一部変更について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福社会准職員の就業規則の一部変更について 議案第5号 社会福祉法人いいたて福社会パートタイマーの就業規則の一部変更について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福社会再雇用職員管理規則の一部変更について 議案第7号 社会福祉法人いいたて福社会やまゆり保育所就業規則の一部変更について 議案第8号 社会福祉法人いいたて福社会やまゆり保育所准職員の就業規則の一部変更について 議案第9号 社会福祉法人いいたて福社会やまゆり保育所パートタイマーの就業規則の一部変更について 議案第10号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約の締結について 議案第11号 社会福祉法人いいたて福社会評議員の選任について
第2回	5月30日	6	2	報告第1号 平成23年度第1回理事会議事録の確認について 議案第1号 平成22年度社会福祉法人いいたて福社会事業報告について 議案第2号 平成22年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支決算について 議案第3号 平成23年度特別養護老人ホームいいたてホーム施設会計補正予算について 議案第4号 平成23年度やまゆり保育所会計補正予算について 議案第5号 業務用空気清浄機リース契約の締結について
第3回	12月8日	6	2	報告第1号 平成23年度第2回理事会議事録の確認について 議案第1号 平成23年度特別養護老人ホームいいたてホーム施設会計補正予算について 議案第2号 平成23年度いいたてデイサービスセンター会計補正予算について 議案第3号 平成23年度いいたてヘルパーステーション会計補正予算について 議案第4号 平成23年度いいたて在宅介護支援センター会計補正予算について 議案第5号 平成23年度やまゆり保育所会計補正予算について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福社会諸規程等の一部変更及び廃止について 議案第7号 社会福祉法人いいたて福社会諸規程の制定について 議案第8号 社会福祉法人いいたて福社会給与規則に特殊作業手当を設けることについて 議案第9号 社会福祉法人いいたて福社会宿直規程の制定について
第4回	平成24年 2月14日	5	2	報告第1号 平成23年度第3回理事会議事録の確認について 議案第1号 理事長の職務の代理について 議案第2号 平成23年度やまゆり保育所会計補正予算について 議案第3号 やまゆり保育所改修工事請負契約の締結について 議案第4号 いいたてホーム災害復旧工事請負契約の締結について
第5回	3月27日	6	2	報告第1号 平成23年度第4回理事会議事録の確認について 議案第1号 平成23年度特別養護老人ホームいいたてホーム施設会計補正予算について 議案第2号 社会福祉法人いいたて福社会経理規程を廃止し新たに制定することについて 議案第3号 平成24年度社会福祉法人いいたて福社会事業計画(案)について 議案第4号 平成24年度社会福祉法人いいたて福社会一般会計収支予算(案)について 議案第5号 特別養護老人ホーム設備機器保守点検委託契約の締結について

(2) 評議員会の開催状況

回数	開催日	出席(人)		内 容
		評議員	監事	
第1回	平成23年 4月18日	14	2	報告第1号 平成22年度第4回評議員会議事録の確認について 議案第1号 平成23年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について 議案第2号 平成23年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支予算(案)について 議案第3号 社会福祉法人いいたて福祉会就業規則の一部変更について 議案第4号 社会福祉法人いいたて福祉会准職員の就業規則の一部変更について 議案第5号 社会福祉法人いいたて福祉会パートタイマーの就業規則の一部変更について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福祉会再雇用職員管理規則の一部変更について 議案第7号 社会福祉法人いいたて福祉会やまゆり保育所就業規則の一部変更について 議案第8号 社会福祉法人いいたて福祉会やまゆり保育所准職員の就業規則の一部変更について 議案第9号 社会福祉法人いいたて福祉会やまゆり保育所パートタイマーの就業規則の一部変更について 議案第10号 特別養護老人ホームいいたてホーム設備機器保守点検委託契約の締結について
第2回	5月30日	11	1	報告第1号 平成23年度第1回評議員会議事録の確認について 議案第1号 平成22年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について 議案第2号 平成22年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について 議案第3号 平成23年度特別養護老人ホームいいたてホーム施設会計補正予算について 議案第4号 平成23年度やまゆり保育所会計補正予算について 議案第5号 業務用空気清浄機リース契約の締結について
第3回	12月8日	8	2	報告第1号 平成23年度第2回評議員会議事録の確認について 議案第1号 平成23年度特別養護老人ホームいいたてホーム施設会計補正予算について 議案第2号 平成23年度いいたてデイサービスセンター会計補正予算について 議案第3号 平成23年度いいたてヘルパーステーション会計補正予算について 議案第4号 平成23年度いいたて在宅介護支援センター会計補正予算について 議案第5号 平成23年度やまゆり保育所会計補正予算について 議案第6号 社会福祉法人いいたて福祉会諸規程等の一部変更及び廃止について 議案第7号 社会福祉法人いいたて福祉会諸規程の制定について 議案第8号 社会福祉法人いいたて福祉会給与規則に特殊作業手当を設けることについて 議案第9号 社会福祉法人いいたて福祉会宿直規程の制定について
第4回	平成24年 3月27日	8	2	報告第1号 平成23年度第3回評議員会議事録の確認について 議案第1号 平成23年度特別養護老人ホームいいたてホーム施設会計補正予算について 議案第2号 社会福祉法人いいたて福祉会経理規程を廃止し新たに制定することについて 議案第3号 平成24年度社会福祉法人いいたて福祉会事業計画(案)について 議案第4号 平成24年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支予算(案)について 議案第5号 特別養護老人ホーム設備機器保守点検委託契約の締結について

(3) 監事会の開催状況

開催日	出席(人)	内 容
平成23年 5月25日	監事 2名	平成22年度社会福祉法人いいたて福祉会事業報告について 平成22年度社会福祉法人いいたて福祉会一般会計収支決算について 理事会及び評議員会議事録について

3. その他

3月11日以降は、原発事故の影響が大であり、法人の職員も140名から75名まで減少する等、何事も予定通りに実行することが困難な年でありました。

しかしながら、事故から1年、法人を運営できたことは、法人役員が一丸となって支えてきたことに他ならないと思います。この1年間、感謝と御礼を申し上げます。

また、同様にここまで頑張ってもらった職員を誇りに思い感謝の気持ちで一杯である。

I いいたてホーム計画的避難の対応について

1. 経過及び内容

4月22日、飯舘村全体が計画的避難区域に設定され、それに伴い、いいたてホームの対応について次のように対応を考えた。

1) 避難指示に従い避難する

① 被災施設として県内外に分散避難

2人～10人程度に分かれ各施設に分散避難する。(県高齢福祉課との話し合いで、埼玉県29ヶ所)

- メリット ⇒
- ・ 利用者は施設に避難できる。
- デメリット ⇒
- ・ 遠距離の移動により多くのリスクが考えられ、また、生活環境変化に伴う影響や精神的な問題が考えられる。
 - ・ 全利用者避難により、法人運営ができない。当然、職員の雇用継続ができなくなる。

② 仮設の施設に避難

県内外の旅館、保養所、体育館等の施設を簡易に改造し、全体で避難する。
この場合考えられること。

- ・ 施設の基準の問題(基準をクリアできるか。国・県が認可するか(仮設は可能))
- ・ 県内で受入可能な規模の施設等が見当たらない(県外なら有(静岡県伊東市))
- ・ 職員は家族と共に避難することを考慮すると、相当数の職員減少が考えられ、人員基準の確保が困難と予想される。

2) 現在の施設に残り継続する

5/17 政府が継続を認める判断を下す。

- ・ 警戒区域等とは違い、法的拘束力や罰則規定等はない。
- ・ 職員は村外(避難先)から通勤する。(入居者はそのまま)
- ・ 職員の年間被ばく量を20msvまで(20msvを超えないようにすること。)


残ることで

- メリット ⇒
- ・ 入居者が安心・安全に過ごせる。
 - ・ 環境変化に伴うリスクが少ない。
 - ・ 避難移動によるリスクがない。
 - ・ 法人運営の継続が可能、職員の雇用も継続できる。
- デメリット ⇒
- ・ 避難しないことにより、マスコミ等による大きな非難が予想される。
 - ・ 全村避難に伴い物流が停滞する恐れ(今のところ問題なし)
 - ・ 入居者の緊急時の対応と職員の不安(今のところ問題なし)
 - ・ 職員の遠距離通勤への不安(特に冬季間)

上記内容を踏まえ、入居者の生命を大切に考え、あらゆるリスクを検討し、考え対応してまいりました。

Ⅱ 一年間のホーム等の推移

1. 入居者の推移

平成 23 年 4 月 1 日  平成 24 年 4 月 16 日

112 人 (男 33 人、女 79 人) 93 人 (男 29 人、女 64 人)

2. 職員の推移

		平成 23 年 4 月 1 日		平成 24 年 4 月 16 日		増減
ホーム	事務員	4 人		3.5 人		△ 0.5 人
	看護職員	8 人		5 人		△ 3 人
	生活相談員	2 人		1 人		△ 1 人
	管理栄養士	2 人		1.5 人		△ 0.5 人
	介護職員	58 人		46 人		△ 12 人
	調理職員	9 人		7 人		△ 2 人
	清掃員	3 人		3 人		0 人
	運転手兼清掃員	0 人		1 人		1 人
	警備員	2 人		2 人		0 人
	計	88 人		70 人		△ 18 人
デイ	(一般)	6 人		0 人		△ 6 人
	(認知)	7 人		0 人		△ 7 人
	計	13 人		0 人		△ 13 人
ヘルパー	(訪問)	5 人		0 人		△ 5 人
	(入浴)	3 人		0 人		△ 3 人
	計	8 人		0 人		△ 8 人
居宅		3 人		2 人		△ 1 人
	計	3 人		2 人		△ 1 人
保育所	保育士	17 人		6 人		△ 11 人
	事務職員	2 人		0.5 人		△ 1.5 人
	保育補助	5 人		0 人		△ 5 人
	管理栄養士	1 人		0.5 人		△ 0.5 人
	調理職員	3 人		1 人		△ 2 人
	計	28 人		8 人		△ 20 人
合 計		140 人		80 人		△ 60 人